

平成29年度第2回外来種調査検討会議事概要

議題1 条例公表種（陸域）の調査結果について

議題2 ブルーデータブックあいち2012^{※1}の改訂に向けた外来種（陸域）の調査結果について

- ・資料1、資料2により、議題1と議題2をまとめて説明。（事務局）
- ・植物は「グリーンデータブックあいち2017 維管束植物編」^{※2}が発行され、この中に分布表も掲載されているので、ブルーデータブックには分布表は掲載せず、1種1ページの解説を増やしたい。（委員）
- ・今年度はヒアリの確認等により外来種に注目が集まっているので、県民が読みやすい形が良いと思う。前の形式にこだわらずに考えたい。（事務局）
- ・ブルーデータブック2012の基礎資料は議論する際に必要なもので、ブルーデータブックは資料集として作成し、それに加えて、レッドデータブックの普及版のような一般向けの冊子を分けて作成したい。（座長）
- ・一般向け冊子は、写真が掲載されていると説明しやすい。また、持ちやすいサイズの別冊が良い。（委員）
- ・一般向け冊子の、愛知県の特徴として挙げる種の選定など、検討委員の意見を聞くべきである。また、移入種対策の手順と対策事例は動物と植物で異なると思う。（委員）
- ・ブルーデータブックについて、動物の分布表は動物全体で統一するか、分類群ごとなどで統一するか。現時点で方針は明確にできないが、今後の調査を行う中で具体的に決めていくようお願いしたい。（座長）

※1 「ブルーデータブックあいち2012」は愛知県移入種対策ハンドブックの後半部分であり、専門家向けの基礎資料となっている。愛知県移入種対策ハンドブックの前半には、一般向けの対策法等が掲載されている。

※2 「グリーンデータブックあいち2017 維管束植物編」とは、県内に生育する全ての植物種（3,870種）とその分布状況等をまとめたもの。

議題3 その他

- ・参考資料1により今年度の外来種対策事業について説明。(事務局)
- ・参考資料2により特定外来生物の追加指定に伴う県条例の取扱いについて説明。(事務局)
- ・近年分布が拡大しているメリケントキンソウについてパンフレットを用いて説明。(事務局)